

表 シカゴ連銀経済報告 (2023年3月8日公表)

項目	動向	関係者報告・背景
雇用と賃金	雇用は緩やかに (moderately) 増加 賃金は引き続き上昇	募集職種に対する応募者数は増加したものの、多くの企業が引き続き労働者の確保が困難であると報告している。賃金および福利厚生のコストは引き続き上昇しており、健康保険料の上昇を指摘する声も聞かれた。
物価	緩やかに (moderately) 上昇	物価は前回の報告期間よりも緩やかなペースで上昇し、関係者は今後12ヶ月の間にも同様の上昇率を予想している。生産者物価は緩やかに上昇し、原材料とエネルギーコストが上昇した。また、輸送コストの伸びは、特に長距離輸送において顕著に鈍化しているとの指摘があった。中古車卸売価格は、旺盛な需要を見込んでディーラーが仕入れを行ったため、顕著に上昇した。
個人消費	控えめに (modestly) 増加	パーソナルケア、スポーツ用品は好調に推移したが、食料品、電化製品、衣料品は低調に推移した。関係者は、消費者の裁量支出が、特に低価格帯の商品に対して弱くなったと報告した。レジャー・接客業への支出は引き続き増加した。
企業支出	わずかに (slightly) 増加	企業の出荷残は減少したが、依然として高い水準にある。小売業では、販売促進活動によって在庫が圧縮され、健全な水準まで減少したとの報告があった。自動車の在庫は、人気のあるモデルでは今もひっ迫しているが、全体では低水準から徐々に回復を続けている。
建設と不動産	緩やかに (modestly) 減少	住宅建設は小幅に減少、住宅用不動産の売買は緩やかに減少した。住宅価格は全体としてほとんど変動がなく、賃料はわずかに上昇した。非住宅建設は、前年同期と変わらず、医療機関や公共部門からの需要は堅調であったものの、物流センター建設の需要は低調であった。高金利と投入コストが引き続き足かせとなり、空調設備や発電設備などの製品のリードタイムは長いままとなっている。
製造業	わずかに (slightly) 増加	製造業の受注残は、全体として待ち時間が改善したものの、特定の投入資材の供給不足に引き続き悩まされたため、わずかに減少した。大型トラックの受注はわずかに増加した。重機生産は、農業およびインフラ建設部門の大規模な受注残と堅調な支出に支えられ、若干減少したものの、高水準を維持した。
金融	ほとんど変化なし (little change)	債券および株式市場の関係者は、資産価値がわずかに上昇し、ボラティリティ (値動きの大ききの度合い) は横ばいとなったと報告した。企業向け融資の需要は、様々な部門で小幅に減少した。消費者市場では、住宅ローンや無担保消費者ローンの減少を指摘する声が聞かれ、融資額は緩やかに減少した。消費者ローンの質は全体的にわずかに低下し、ある関係者は、クレジットカードや自動車ローンの延滞率が上昇し、新型コロナ前の水準に近づいていると指摘した。消費者ローンの基準はわずかに厳しくなった。
農業	2023年の農業所得は2022年を下回るが、概ね平均並み (mostly for near average)	関係者は、一部の投入資材のコスト低下は農家所得の増加に寄与するが、飼料コストの上昇は畜産業者にとって引き続き懸念事項であると指摘した。卵の価格は非常に高い水準から下落し、乳製品の価格も全般的に下落した。小規模酪農家の廃業が報告されているが、これは融資金利の上昇により、より収益性の高い規模に拡大するためのコストが高くなったためとの指摘があった。牛と豚の価格は報告期間中、上昇した。
地域社会の状況	ほとんど変化なし (little change)	州政府関係者は、税収の健全な伸びと失業保険に対する需要の低さを引き続き報告した。中小企業支援団体は、保険料の上昇を強調し、顧客のコスト上昇を報告した。低価格住宅の開発業者は、材料費や人件費の2桁の上昇に直面し、プロジェクトの資金調達構造に負担がかかっていると報告した。

(出所)シカゴ連銀経済報告を基にジェトロ作成